



宝塚市立良元小学校 学校通信

# 良元通信

令和5年(2023)7月14日号

校長 狩野 洋光

こじんこんだんかい

## 個人懇談会ありがとうございました。

蝉の鳴き声も聞こえはじめ、季節はもうすっかり夏となりました。暑さも厳しくなってきました。学校では、熱中症予防のため、子どもたちの外遊びの時間を制限したり、保健委員の子どもたちが水分補給の呼びかけをしたりしています。ご家庭におかれましても熱中症対策の取り組みやお子さんへの声かけをどうぞよろしく願いたします。

さて、個人懇談会では、1学期のお子さんの様子をお伝えさせていただきました。学級担任は、お子さんの1学期のがんばりが少しでも伝わるように、日々の取り組みをふり返し、一人一人の子どもの姿を思い浮かべながら話しています。保護者の方との対話を通して、お子さんが見せる姿に成長を感じ、共に喜び、子育てについて共に考えることのできる時間となりますよう、職員一同取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしく願いたします。

ほごしゃ かた かた

## 保護者の方との語らいから①

子育ては「不安」の連続なのかもしれません。進路の選択も不安のひとつでしょう。

「(子どもが)どちらを選んだとしても、選んだ方が良くなる」

先日、お話した保護者の方の言葉です。子どもの進路について真剣に考え、悩み、それでも、最後は子どもを信じる、子どもに任せる。そして全力で応援する。親としての力強さを感じました。

親の不安から出た言葉が、子どもの行動を制限したり、思考のくせをつくったりすることもあります。子どもを見守る大人の姿としてぜひ見習いたいと思いました。

## 保護者の方との語らいから②

「ゴミの分別を子どもと一緒にしています。」

保護者の方が、子どもに「あなたも家族の一員なんだよ」ということを伝えたくてはじめたそうです。『とってもいい』です!!

家族を一つの船に考えると、赤ちゃんの間は乗っているだけですが、成長し、少しずつ役割を与えられることで、船の安全な航海の方法を少しずつ経験し、学ぶことで、船を操作したり、方位を覚えたり、一緒にすることで、安心を与え、自信を持つことにもつながるでしょう。そして何よりも「ほめる」場面が増えます。

「ご家庭の船員の様子はいかがでしょう。」こんなことを言うといついつい叱る材料が出てしまうかもしれませんね。

## コミュニティ・スクール(コミスク)のお話

「コミスクとは、学校運営協議会を設置している学校のことです」と、4月にご案内してから、保護者の皆さんに何をしているのか、お知らせできておりませんでした。

学校運営協議会を5月9日(月)と6月19日(月)に開催しました。委員の方は、良元コミュニティ会長の平田さん、PTA会長の石井さん、スポーツクラブ21良元の田中さん、小林自治会の松本さん、学校応援団コーディネーターの酒井さんにお願ひしました。

学校の委員は、校長、教頭、主幹教諭、生活指導担当です。

会の中では、学校と地域がつながり合い、子どもたちのために何ができるかについて様々な意見交換を行いました。どんな子どもに育てほしいかという目指す子どもの姿を共有し、そのためにできることを具体化させていきたいと考えています。

早速、安全なプールの時間のために、地域の方に呼びかけていただき、プールの時間の指導や陸上監視のお手伝いをしていただける方を見つけていただきました。

これからもコミスクの様子について、お知らせしていきます。